

様式

技術名称	ピエゾドライブコーン	技術の分類	地盤調査	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	TH-100032-A
会社名等	応用地質株式会社	担当者	松本 英樹	連絡先	048-652-0651
技術の概要	本技術は地盤の硬軟(N 値)及び土質材料(細粒分含有率 F_c)を知り、地盤の液状化強度を原位置のみで知る事が出来る地盤調査技術である。従来はボーリングによる標準貫入試験と室内土質試験を実施して求めている。本技術により迅速で低コストに液状化判定が可能。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	発表論文・コンソーシアム資料	
技術の特徴	<p>PDCのメリット</p> <p>従来のボーリング調査による方法は、少ない調査データで液状化層を評価していました。PDCはボーリング調査と同じ費用で、より多くの地点を調査でき、詳細な調査データに基づいて液状化の評価を行うので、不確定要素(地質リスク)の少ない地盤調査が可能となります。</p> <p>施行性: ボーリング調査を行う従来の方法に比べ1/5の工期で調査します。</p> <p>経済性: ボーリング調査を行う従来の方法に比べ1/7の費用で調査します。</p> <p>高品質: PDCの測定数は数cm間隔で連続測定かつ液状化評価が可能です。</p>		その他	<p>本技術の更なる改良・普及を目的としたコンソーシアムを結成し、技術向上・広報などの活動をしています。本技術は、コンソーシアムに入会し年会費をお納め頂ければ何方でも実施可能です。現在26社の加盟企業数となっています。</p> <p>コンソーシアム公式サイト: http://www.pdc-cons.jp/</p>	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。